

色覚の多様性に対応 正確な情報伝達へ

カラーユニバーサルデザイン 色、文字の形に配慮



松本珠美准教授

色は誰にでも同じに見えているわけではありません。配色によっては識別できる人とできない人が出てきます。こうした、色覚の多様性に対応し、利用者の立場で色による正確な情報伝達をめざす考え方が「カラーユニバーサルデザイン」です。本学カラーユニバーサルデザインワーキンググループの松本珠美准教授（医学検査学科）に、本学での取り組みを紹介してもらいました。なお、本号では全ての記事のフォントに、ユニバーサルデザインで推奨されている「UDデジタル教科書体N-R」を使用しています。

誰に対してでもきちんと正しい情報が伝わるように、色の使い方や文字の形などにあらかじめ配慮することを「カラーユニバーサルデザイン」といいます。日本人の中で色覚に特異性のある人（赤や緑の混じった特定の範囲の色について差を感じにくい人）は、男性が20人に1人、女性は500人に1人の割合で存在するとされています。

本学においても、第2色覚異常（赤緑色覚障害）をもつ学生への修学支援が行われています。しかし、上述の割合（男女100人が同じ比率にいる場合、2～3人に色覚特性をもった人がいることになる）から考えると、配慮申請を提出していない学生の皆さんも少なからずいることが推察されます。

本学では、2020年度から杉内博幸教授を責任者とした大学教育改革推進プログラム（学長裁量経費）がスタートしました。同プログラムにより立ち上げたワーキンググループ（WG）は、学生相談・修学サポートセンターと協力し、①教員研究室入り口の在室表示マグネットを見えやすいものに交換する、②学

リーフレットのCUD認証マークを取得するといった活動をしています。

授業資料の作成や掲示板の工夫は、サポートセンターやWGのメンバーだけが行うのではなく、すべての教職員が「誰に対してもきちんと正しい情報が伝わるように、色の使い方や文字の形などにあらかじめ配慮する」ことに留意すれば、本学のバリアフリーは大きく推進できると思います。

カラーユニバーサルに関する取り組みについては、これまでも学内メールでお知らせしてきました。詳細は以下の配信済みメール（および添付資料）を参照してください。

- ① 2021年4月12日配信 「【周知】学生相談・修学サポートセンターからのお知らせ2」
- ② 2021年7月15日配信 「カラーユニバーサルデザインWG、学生相談・修学サポートセンターからのお知らせ」
- ③ 2021年10月7日配信 「学生相談・修学サポートセンター、カラーユニバーサルデザインWGからのお知らせ」

P型の人の見え方

(赤いマグネットでは見えない)



青地に黄色のマグネットに変更（誰にでも見やすくなる）

教員研究室入り口の
マグネット変更例熊本保健科学大学
Kumamoto Health Science University学生相談・修学
サポートセンター

熊本保健科学大学では、障がいのある学生を含め、すべての学生がよりよい生活を送れるように、さまざまな学生支援を行っています。

TEL : 096-275-2262 (直通)

*不在の場合は留守電につながります。

E-mail : doraeon@kumamoto-hsu.ac.jp



CUDのマーク（左下）が入った学生相談・修学サポートセンターのリーフレット

※「カラーユニバーサルデザインに関する講演会」が28日（金）14時半からZoom開催されます。問い合わせ・参加申し込みは、18日（火）までに学生相談・修学サポートセンター（原口さん）までお願いします。

脊髄損傷による運動障害 回復に脳機能関与



「学術講演会」で
京大・山口助教

マカクザルを使った実験など紹介

学術研究会議による学術講演会が医学検査学科との共催で12月23日（木）、Zoomを通じて行われ、京都大学高等研究院ヒト生物学高等研究拠点（WPI-ASHBi）の山口玲欧助教＝写真＝が「脊髄損傷の運動機能回復に関わる脳機能」のテーマで自身の研究内容や成果などを紹介しました。

ヒトやマカクザルなどの霊長類は、それぞれの指を独立して動かし、対象とする物体を正確に把持・操作を行うことができます。山口助教は非ヒト科霊長類モデルであるマカクザルを用いて、手指の細かい運動に関わる神

経回路について研究しています。

交通事故などで脊髄を損傷すると、運動麻痺などの障害が起きますが、リハビリテーションによって失われた機能がある程度回復することがあります。このような機能回復過程においては、脳機能が深く関係していることが明らかになっています。講演では、脊髄損傷からの機能回復に関わる脳機能を紹介していただきました。マカクザルを使った実験は、日本でもなかなかできることではなく大変貴重な講演となりました。

（医学検査学科・山口 類）

銀杏アラカルト

◆食料配布で一人暮らしの学生支援 7日（金）アリーナで、一人暮らしの学生を対象とした支援物資の配布がありました。配布物は、熊本市主催の食料支援活動の一環として、熊本日日新聞社、九電工、コカ・コーラボトラーズジャパンの各企業から寄せられたものです。学務課で取りまとめ「米セット」と「パスタセット」に分け、120名分を準備。集まった学生72人に配布しました。ある4年生の学生は「国家試験前の大変な時期なので、助かりました」と話し、お米セットを受け取った2年生の学生は「お米は日持ちがするからとても助かります」と大きな袋を抱えて嬉しそうに話していました。残った48人分は12日（水）に配布しました。



「お米セット」の中身を確認する学生たち

インフォメーション

■テレビ熊本の特別番組 YouTubeで視聴できます！ 12月4日（土）10:35～11:30にテレビ放映された特別番組「“生きる”をひらくスポーツヘルスサイエンス～熊本保健科学大学の新たな挑戦～」が、以下のURL (<https://youtu.be/X0buVD7d1Bw>) より視聴可能です。ぜひご覧ください。

週間行事予定（1月15日～21日）	
1 / 15（土）、16（日）	大学入学共通テスト
1 / 17（月）、18（火）	一般選抜 業務説明会